

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 12 日 (2021.2.12)

【公開番号】特開 2020-25587 (P2020-25587A)

【公開日】令和 2 年 2 月 20 日 (2020.2.20)

【年通号数】公開・登録公報 2020-007

【出願番号】特願 2018-150032 (P2018-150032)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 22 日 (2020.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて図柄変動を実行する図柄変動手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者の操作対象とされる特定操作手段と、

前記特定操作手段を摸した摸画像表示を表示可能な摸画像表示手段と、

前記特定操作手段に対する操作の受け付けが許容される第 1 受付状態を発生可能であり、
 該第 1 受付状態において遊技者による操作が受け付けされると、該受け付けがなされたことに
 基づいて、期待度が異なる複数態様のいずれかで第 1 受付後演出を実行可能な第 1 受付演
 出実行手段と、

前記特定操作手段に対する操作の受け付けが許容される第 2 受付状態を発生可能であり、
 該第 2 受付状態において遊技者による操作が受け付けされると、該受け付けがなされたことに
 基づいて、期待度が異なる複数態様のいずれかで第 2 受付後演出を実行可能な第 2 受付演
 出実行手段と

を備え、

前記第 1 受付状態において遊技者による操作が受け付けされた場合、前記摸画像表示が表
 示されているなかで、該摸画像表示が視認し難くなる態様を第 1 態様として出現可能であ
 り、

前記第 2 受付状態において遊技者による操作が受け付けされた場合、前記摸画像表示が表
 示されているなかで、該摸画像表示が視認し難くなる態様を第 2 態様として出現可能であ
 り、

前記第 1 態様は、前記第 1 受付後演出が前記複数態様のうち低期待態様で実行される場
 合と該低期待態様よりも期待度の高い高期待態様で実行される場合とのいずれの場合であ
 っても出現可能とされるが、前記第 2 態様は、前記第 2 受付後演出が前記複数態様のうち
 低期待態様で実行される場合と該低期待態様よりも期待度の高い高期待態様で実行される
 場合とのいずれかの場合にしか出現可能とされず、

前記第 1 態様は、前記第 1 受付状態において遊技者による操作が受け付けされたときには
 、前記第 1 受付後演出が前記低期待態様及び前記高期待態様のいずれで実行される場合で

あっても出現可能とされるが、前記第 1 受付状態において遊技者による操作が受け付けられなかった場合には出現しないようになっており、

さらに、

前記第 2 受付状態が発生する場合、該第 2 受付状態に対応する前演出表示が当該第 2 受付状態の発生タイミングを跨るかたちで表示可能とされており、

前記第 2 受付状態の発生タイミングを跨るかたちで表示可能とされる前記前演出表示が表示されているなかで前記操作の受け付けがなされた場合、前記第 2 態様が現れる時点において前記前演出表示は非表示の状態にされておらず表示されており、該前演出表示は、前記第 2 態様に対してその背後側に見えるように表示されており、

さらに、

前記特定操作手段に対する操作の受け付けが許容される第 3 受付状態をさらに発生可能であり、

前記第 3 受付状態は、特定 B G M が非抑制態様で可聴出力されているなかで発生する場合と、特定 B G M が抑制態様または非可聴状態にされてから発生する場合との両方があることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

このような従来の遊技機では、遊技興趣の低下が懸念される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

手段 1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて図柄変動を実行する図柄変動手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて特典を付与しうする特典付与手段と、

遊技者の操作対象とされる特定操作手段と、

前記特定操作手段を摸した摸画像表示を表示可能な摸画像表示手段と、

前記特定操作手段に対する操作の受け付けが許容される第 1 受付状態を発生可能であり、該第 1 受付状態において遊技者による操作が受け付けされると、該受け付けがなされたことに基づいて、期待度が異なる複数態様のいずれかで第 1 受付後演出を実行可能な第 1 受付演出実行手段と、

前記特定操作手段に対する操作の受け付けが許容される第 2 受付状態を発生可能であり、該第 2 受付状態において遊技者による操作が受け付けされると、該受け付けがなされたことに基づいて、期待度が異なる複数態様のいずれかで第 2 受付後演出を実行可能な第 2 受付演出実行手段と

を備え、

前記第 1 受付状態において遊技者による操作が受け付けされた場合、前記摸画像表示が表示されているなかで、該摸画像表示が視認し難くなる態様を第 1 態様として出現可能であり、

前記第 2 受付状態において遊技者による操作が受け付けされた場合、前記摸画像表示が表示されているなかで、該摸画像表示が視認し難くなる態様を第 2 態様として出現可能であり、

前記第 1 態様は、前記第 1 受付後演出が前記複数態様のうち低期待態様で実行される場合と該低期待態様よりも期待度の高い高期待態様で実行される場合とのいずれの場合であ

っても出現可能とされるが、前記第 2 態様は、前記第 2 受付後演出が前記複数態様のうち低期待態様で実行される場合と該低期待態様よりも期待度の高い高期待態様で実行される場合とのいずれかの場合にしか出現可能とされず、

前記第 1 態様は、前記第 1 受付状態において遊技者による操作が受け付けられたときには、前記第 1 受付後演出が前記低期待態様及び前記高期待態様のいずれで実行される場合であっても出現可能とされるが、前記第 1 受付状態において遊技者による操作が受け付けられなかった場合には出現しないようになっており、

さらに、

前記第 2 受付状態が発生する場合、該第 2 受付状態に対応する前演出表示が当該第 2 受付状態の発生タイミングを跨るかたちで表示可能とされており、

前記第 2 受付状態の発生タイミングを跨るかたちで表示可能とされる前記前演出表示が表示されているなかで前記操作の受け付けがなされた場合、前記第 2 態様が現れる時点において前記前演出表示は非表示の状態にされておらず表示されており、該前演出表示は、前記第 2 態様に対してその背後側に見えるように表示されており、

さらに、

前記特定操作手段に対する操作の受け付けが許容される第 3 受付状態をさらに発生可能であり、

前記第 3 受付状態は、特定 B G M が非抑制態様で可聴出力されているなかで発生する場合と、特定 B G M が抑制態様または非可聴状態にされてから発生する場合との両方がある

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】